

1. 社会・治安情勢

- (1) 10月末、リオ市において社会的隔離措置の更なる緩和が発表され、屋外でのマスク着用義務が解除されると共に、収容率に一応の制限はあるものの、イベントやパーティーの開催も許可されるようになった。市街地の人・車両の通行は確実に増加しており、ゾナスル地区（特にコパカバーナ地区）では、観光客等を狙った携帯電話強盗が増加した。
- (2) 大晦日には、2シーズンぶりにコパカバーナ海岸での花火大会も開催され、例年並みとはいかないものの、多くの観光客で海岸沿いは賑わった。しかし、その一方で、強盗事件等も多発し、報道によると、合計4人が刃物で刺されて負傷したほか、ポスト4（コパカバーナ海岸の中央）付近では、アハスタウンと呼ばれる集団路上強盗も発生した。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2021年度第3四半期（10～12月）中のリオ州内における殺人事件発生件数は、736件で、前期（第2四半期）と比べて約5%減少した。
- (2) また、リオ州内における強盗事件発生総数は、24,543件（前期比-15%）と減少しており、全ての強盗手口で減少が認められた。
- (3) ただし、リオ市の主要観光地であるコパカバーナ地区では、通行人強盗、携帯電話強盗の増加により、第3四半期の強盗総数は、284件（前期比+10%）となっており、引き続き警戒が必要である。

3. リオ州犯罪発生状況（2021年）

	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)
殺人	798	772	736
強制性交等	1,194	1,283	1,316
商業施設強盗	886	756	666
住居侵入強盗	255	224	261
車両強盗	6,009	6,233	5,218
通行人強盗	10,149	10,218	8,969
交通機関内強盗	2,793	2,217	1,799
携帯電話強盗	3,600	3,575	3,340
強盗総数	29,003	28,768	24,543
窃盗総数	26,466	28,188	31,094
取扱件数	147,695	155,149	157,726
※警察介入の際の致死事件	350	290	257

4. 一般事件等（邦人の安全に係るものを抜粋）

（1）窃盗（フラメンゴ地区）

10月20日午後9時ころ、フラメンゴ地区において、邦人が携帯電話をひったくられる窃盗事案が発生した。被害者は、Uberを呼ぶためにビル内地上階でスマートフォンを操作していたが、電波の接続に問題があったため、建物外の路上に移動した。その際に、自転車に乗った犯人が猛スピードで近付いてきて、手に持った携帯電話をひったくられ、盗まれた。

（2）窃盗（サントスドゥモン空港）

10月18日、サントスドゥモン空港の出発カウンターにおいて、搭乗手続きを行っていた搭乗客がリュックサックを盗まれる事件が発生した。被害者は、手荷物カウンターでスーツケースを預ける手続きを行っていた際、リュックサックを背後の床上に置いたままにしていた。犯人は、被害者の背後から近付いて隙を伺い、リュックサックを盗んで逃走した。

（3）窃盗（イパネマ地区）

11月5日午後10時30分ころ、イパネマ地区プルデンチ・デ・モライス通りにおいて、邦人が携帯電話をひったくられる窃盗事案が発生した。被害者は、Uberを呼ぶために建物正面玄関前（車寄せ）で待っていたところ、自転車に乗った犯人に手に持っていた携帯電話をひったくられた。

5. テロ・爆弾事件発生状況
事件の発生は認知していない。

6. 誘拐・恐喝事件発生状況
邦人被害は認知していない。